

1-2

地域介護予防教室と地域ネットワークづくり

1年2ヶ月のあゆみ

介護予防

地域ネットワーク

しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人

ふくいんかい
福音会

福音会地域包括支援センター
まちだケアセンター
デイサービス鶴川

地域包括支援センター 保健師 石川 香代子

デイサービス
センター 鶴田 尚子、武田 サチ

町田市野津田町1932番地

ファシリテーター 柴田 基
インストラクター 前川 由美子、馬淵 由香

TEL: 042-734-0631

E-mail tsuruta@fukuinkai.or.jp

FAX: 042-734-0638

URL http://www.fukuinkai.or.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人福音会は、昭和58年4月に町田市において、特養、軽費、通所事業所として開設。その後、在宅介護支援センター、ヘルパーステーションなど、在宅介護を拡充し、さらに、文京、練馬にも、特養、通所、在宅介護支援センター、ヘルパー、グループホームの拡充を図る。現在は各エリアにおいて地域包括センターを担い、トータルケアをめざす。

<取り組んだ課題>

介護予防が重点策となる中で、一般高齢者、並び認定結果が非該当の方々の予防（一次予防）を推進し、地域一般高齢者の健康増進を促進すると共に、元気な高齢者同志で相互に支援していられる、地域ネットワークの形成に向けても働きかける。本事業は、町田市の地域介護予防教室の一端として実施する。

<具体的な取り組み>

- 地域づくりに熱心な、介護予防のファシリテーターと連携し、一般高齢者向け体操教室を地域で立ち上げることを企画し、法人の在宅部門で検討した。
- ファシリテーターの提案内容を通所事業所が中心となって検討し、さらに地域包括支援センター保健師の助言を得て立ち上げる。
- 地域包括支援センターや通所事業所が主に担っている、地域の中央にある当法人の地域交流スペースにおいて、サテライト型の地域支援事業を予定し、地域ケア会議などで広報活動を行う。（口頭、パンフ、ポスター等）
- 通所事業所に、体操教室専任の非常勤看護師を1名雇い、地域包括支援センターの保健師が指導養成する。
- 詳細な活動方法を決定し、担当する職員とインストラクターに周知する。
- 利用者の申し込み窓口は、ファシリテーターが担い、健康アドバイスは保健師が実施。必要に応じてかかりつけ医との連携や、介護予防につなげたり、細やかな対応を心がける。
- 健康増進、介護予防の心身ケアに努めながら、さりげなく参加者のニーズを把握し、かかりつけ医を含む地域関係機関と連携して早期対応に心がけ、閉じこもり予防の一役も担う。

<活動の成果と評価>

- ・週2回、午前プログラムに延べ650人参加
- ・見学のみ途中退会（体調悪化）20人
- ・ずっと継続24人 } 42人
- ・一人暮らし老人のみ世帯14人 } グループ内での
- ・2世帯10人 } 相互援助ができてきた
- 友達になれた。明るく自分自身が前向きになれた等の利用者の声。
- 6ヶ月目に効果判定を実施、モチベーションをアップすることができた。
- 心身の向上を図り、活動的になって卒業生がボランティア活動を各々（6人）で開始。

<今後の課題>

- 参加者自身の中から運営委員ができて、自主グループへの育成をはかりたい。しかし68～94オグループでは体調変化もあるので将来的にも保健医療福祉の専門スタッフの関わりの継続が望ましい。
- 今後活動を拡大した場合の人数の変化、また、新しいグループづくりが課題。